

# 6-6

演題	私達が実現したいステップYESWE CAN
副題	～外国人職員が活躍できる環境づくり～


法人名	社会福祉法人 若竹大寿会
施設名	わかたけ鶴見

発表者名 (職種)	TABONMARIEANNGARCIA 介護職員
共同発表者	中村 彰
共同発表者	山口 美智子
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	横浜市鶴見区矢向 1-4-20
TEL	045-642-7500
FAX	045-583-6616
メールアドレス	wakataketsurumi@wakatake.or.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	わかたけ鶴見は 2013 年 5 月に開所した定員 120 名(併設ショートステイ 20 名含む)のユニット型施設です。法人理念である「人を幸せにする」ことを大切にご利用者の生活が豊かになるよう多職種と連携した取り組みを行っています。
---------------------------	---

## 研究の目的、PR ポイント

法人では 2016 年より外国人スタッフの採用を始め、現在 EPA 介護福祉士や候補生を始め、特定技能介護等、約 25 名の外国人スタッフが在籍している。今後私たち外国人スタッフが個人の能力を生かし、活躍しやすい環境をつくることを目的に何が必要かを主体的に考え、取り組んだことを報告する。

## 取り組んだ課題

- ・ 配属先施設による育成方法の違いから夜勤業務を開始する時期が大きく異なる状況があった
- ・ 外国人スタッフのキャリアアップとして「外国人活躍支援リーダー」の職目が設けられているが、その役割を明確にすることで、より具体的な行動に繋がると考えた。

## 具体的な取り組み

- ・ 外国人スタッフへアンケートを実施し、夜勤業務について施設ごとの違いや、業務への不安等について集計した結果を法人担当者と分析し今後の外国人スタッフ育成について考察した。
- ・ 新たに入社した外国人スタッフの OJT 担当として、他事業所で 1 ヶ月半育成に携わった
- ・ 定期的なヒアリング活動や相談窓口として外国人スタッフの生活や仕事上の課題を聞き取り、法人担当者と支援策について検討した。

## 活動の成果と評価

- ・ 夜勤業務についてのアンケート結果から、適正な開始時期や育成の重点ポイントを明確にすることができた。
- ・ 法人事業所を横断し、短期間の OJT でご利用者とのコミュニケーションや基本的な介護技術等、記録以外の業務ができるようサポートする役割を実践することができたが、継続的に取り組むまでには至っていない。
- ・ ヒアリングから要望の多い一時帰国に関するルールについて法人担当者と共に協議しながら策定を行った。コロナ禍の運用ではあったが、一時帰国への申出がしやすくなった。

## 今後の課題

外国人スタッフの育成において重点的に取り組むべきポイントは明確になったが、具体的なプログラムとして完成させ、全事業所に展開していくことが今後の課題となる。

また、外国人活躍支援リーダーとして、外国人スタッフの処遇やキャリア形成について意見を吸い上げ私たち外国人スタッフがより力を発揮できる職場を作りあげることを今後の目標としていく。